

校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年7月19日
第16号

先週から夏の交通安全運動の一環として、学校付近の交差点にてPTA会員の皆さんに街頭指導を行っていただいています。肝心の子供たちはというと、登校中から暑さで疲れているのか挨拶の声が小さいこともあります。当番の方には優しく子供を見守りながら安全指導をしていただき、ありがとうございます。

一方、朝の済美園では花の水やりや植物の観察のためにいつも数名の子たちがやってきます。「アサガオのつるが長くなったね」「花の色がきれいだね」と互いに見比べる1年生や、夏の野菜の育ち具合を先生と一緒にチェックする2年生等々…。「ナスがもう採ってほしいっていう顔をしているよ」と教えてくれる子もいました。楽しい表現ですね。

1学期も残りわずか。梅雨明けと夏休みが待ち遠しい今日この頃です。



一人一人ががんばった 第1回校長杯計算大会

以前の「校長室だより」で少しお知らせしていましたが、第1回校長杯計算大会を、たし算の部は先週12日（金）に、ひき算の部は18日（木）に実施しました。いずれも朝の会の時間を使って、全校同じ問題に2分間取り組みました。本校では初の試みでしたが、子供だけでなく大人（学級担任や職員室の教職員）も進んで挑戦し、大いに盛り上がりました。

★「すごくおもしろかった！」時間いっぱい頑張る楽しさと達成感

校長の私は事前の練習プリントと本番の問題用紙の作成、そして当日は職員室からの全校一斉放送で「はじめ」と「やめ」の合図を出し、その後の採点・集計を行いました。12日（金）のたし算の終了直後に答案回収のために校内を回っていたときのこと。「校長先生、計算大会すごくおもしろかった！」「2分間頑張ったよ。でも手が痛くなった」「少ししか書けなかった、残念」などと進んで話しかけてくる子がいて驚きました。実はそれほど計算が得意な子たちではないような…。でも、その子たちにとって今回の2分間は、周りの様子を気にする間もなく、ひたすら自分の問題に集中して取り組めた楽しい時間だったのかなと思いました。得意・不得意を越えて、一人一人が夢中になって時間いっぱい頑張った達成感が味わえたのなら、本当によかったと思います。

★「〇〇君、すごいね！」お互いの健闘をたたえ合い、拍手する子供たち

答案回収後は大急ぎで採点に取りかかり、その日のお昼のランチルームで結果速報を発表しました。全校の上位10名と、基準点超えの「校長賞」を数名、また低学年の学年1位の子の名前も発表しました。

次々に発表される名前と点数を聞き、その度にどよめきと拍手が起りました。私が感心したのは、「え、あの子が？ すごいな」「そんなにたくさん問題が解けたなんて！」「おめでとう！」と、成績上位の友達を素直な気持ちでたたえようとする明るい雰囲気がランチルームいっぱい広がっていたことです。本当に心が温かい子供たちです。

たし算の部から約1週間後の実施となった18日（木）「引き算の部」の朝。校内はいつもより落ち着いた雰囲気でした。ある先生は「静かな闘志と緊張感が漂っているようです。こういうのもたまにはいいですね」と教えてくれました。今回の大会が子供のやる気の糸を少しでも動かしたのなら何よりです。

正々堂々と競い合い、互いの健闘をたたえ合う。そうした機会をこれからも大切にしていきたいです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（ ）



7/17(水)「人権の花運動」伝達式

朝日町から滑川市までの29校から1校だけ選ばれる「人権の花運動校」に、今年度は本校が選ばれました。17日(水)の伝達式では、4~6年生一人一人にベゴニアの鉢花が伝達されました。「思いやりの心」と「命を大切に作る心」をこの花に託し、夏休みいっぱい各家庭で大切に育てていくことになりました。

花を育てるコツはいくつかありますが、毎日「今日も元気に育つてね」と声をかけてお世話することも大切だそうです。家族ぐるみでよろしくお願いします。2学期にはこれらの花を各施設へと届けます。

シリーズ「教室におじゃまします」7/17(水)2年国語科の巻

生活科で夏野菜を各自の鉢で育てている2年生は、そこで観察したことを基に「こんなことみつけたよ」の学習をしています。組み立てを考えて文章を書くのが学習のポイントです。この日は、観察メモをもとに、いよいよ組み立てを考えます。教科書の例のとおり、「はじめ・中・おわり」の3つを色別の付箋紙に転記していきます。廣瀬先生が手元を大きく映し出しながら、学習の進め方を説明していききました。「中」の部分が分量的に多くなると予想され、今回は黄緑色の付箋紙に書くメモが多くなりそうです。

子供たちは前時のワークシートを確かめながら、付箋紙に1つ1つの事柄を書いていきました。一人一人育てている野菜が違い、また葉の様子(はっぱがつるつるだった)や実の付き方(〇こついていました)、においや手触り、色などたくさんの事柄があり、どの子もせっせと付箋紙に書いていました。その後は付箋紙を並べ替えながら書く順番を考えていきます。いろいろな順番を試そうとせずに考えが固まりがちな子もいましたが、先生はタイミングを見て「伝わりやすいのはどちらかな?」と投げかけ、子供たちの思考と試行を促していました。スタディ・メイトの福島先生にもサポートしてもらいながらベストな順番が決まっていきました。

最後はノートに付箋紙を貼り付けました。落ちついて学習できた1時間でした。

<おまけのひとりごと>「人権の花運動」伝達式には、富山地方法務局魚津支局、黒部市役所市民環境課、黒部市の人権擁護委員の皆様等、多数の方が来校されました。蒸し暑い体育館の中でも、子供たちにこの運動のことや花の育て方を丁寧に説明してくださいました。ちなみに、市民環境課の吉田課長さんと、人権擁護委員の滑川さん(花の育て方の説明をしてくださいました)はともに村椿小学校のすぐそばにお住まいのお二方で、とりわけ温かいまなざしで子供たちに接してくださいました。ありがとうございました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()